

東北大学大学院経済学研究科  
地域イノベーション研究センター  
活動報告書  
(2019.4.1～2020.3.31)

2020年3月

東北大学大学院経済学研究科  
地域イノベーション研究センター

Regional Innovation Research Center  
Graduate School of Economics and Management  
Tohoku University



## 目 次

1. 地域イノベーション研究センターの概要 .....	1
2. 地域の調査研究事業.....	2
2-1 東北発水産業イノベーションプロジェクト .....	2
2-1-1 プロジェクトの概要.....	2
2-1-2 プロジェクトの活動内容 .....	3
3. 地域の人材育成事業.....	6
3-1 地域イノベーションプロデューサー塾・地域イノベーションアドバイザー塾 .. 6	
3-1-1 概要.....	6
3-1-2 ベーシックコース.....	7
3-1-3 アドバンストコース .....	12
3-1-4 卒塾後の事業支援・フォローアップ .....	16
3-1-5 OB会の活動.....	17
3-1-6 来年度に向けて .....	18
3-2 中小企業者のための右腕幹部養成講座.....	18
3-3 「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」会議の開催 .....	20
4. 地域交流と広報.....	20
4-1 地方自治体、金融機関、経済団体等との連携によるセミナーの実施 .....	20
4-2 人材育成の支援 .....	20
4-3 パブリシティ（新聞・雑誌掲載記事一覧） .....	21
【今年度の実施事業】 .....	22
【所在・連絡先】 .....	22



## 1. 地域イノベーション研究センターの概要

地域イノベーション研究センターは、2005年7月、東北地域のイノベーション能力の向上を通じて地域の産業振興と経済発展に貢献するために設立された。東北大学大学院経済学研究科の附属機関であり、これまで蓄積してきた知的成果と教育研究能力を地域社会の課題解決と人材育成に活用していく使命を担っている。主な事業活動は、地域社会の調査研究と人材育成が二本の柱である。

東北地域は、2011年3月の東日本大震災から9年が経過し、様々な統計資料によると建設関連業を中心とする一時的な復興需要が既にピークアウトしている。津波被災地の沿岸部などでは、建設労働者の数が減少し、コンビニの来店者数が減少したために閉鎖する店舗もあり、その陰りが顕在化しつつある。見かけ上の高い求人倍率は、建設関連や介護などの特定の職種によって押し上げられており、決して地域企業の再生を意味しているわけではない。震災前から地域産業の空洞化は進んでおり、震災後はますます加速している。

こうした地域経済の状況の中で、2016年度より「東北発水産業イノベーションプロジェクト」を発足し、産官学が協力して三陸沿岸の水産加工業を再生させるための政策立案から実践までの一貫したプログラムの策定に取り組んできた。4年目となる今年度は、昨年度に引き続き東北経済産業局と連携し、「イノベーション講座」の実施と様々なテーマ別研究会の立ち上げを支援した。こうした研究会を中心とした経営者のネットワーク活動を通して水産加工業界の事業イノベーションの促進が期待されている。

そして、2012年度より「地域イノベーションプロデューサー塾」(RIPS)、2015年度より「地域イノベーションアドバイザー塾」(RIAS)を開講し、これらの卒塾生は合わせて約370名に達している。こうした人材が地域経済の中でも影響力の大きな独自の経済ネットワークを形成している。また、中小企業庁と金融庁が、こうした事業活動に大きな関心を寄せており、このプログラムを全国の各地域に展開することを企画しており、来年度には共同で概算要求を申請することが検討されている。

当センターの運営資金は、2012年度から2015年度までの4年間は文科省の復興特別会計からの補助金、2015年10月から2018年度までは内閣府の地方創生新型交付金および宮城県の発展税など、そして2019年度は仙台市からの補助金に支えられてきた。今後は、RIPS/RIASの全国展開による収入も模索しながら事業運営に必要な財務基盤を確立して自活することを目指している。

これからも長期的な視点から地域社会の本質的な課題解決に取り組むことによって、地域社会にとってインパクトある貢献を果たしていきたい。

地域イノベーション研究センター長  
藤本雅彦

## 2. 地域の調査研究事業

### 2-1 東北発水産業イノベーションプロジェクト

#### 2-1-1 プロジェクトの概要

本プロジェクトは、「地域社会に大きなインパクトを与える調査研究」として、2016年度から5年間にわたって東北の水産業（特に水産加工業）のイノベーションに取り組んでいる事業である。東北の主要産業の一つである水産業は1990年代以降急速にその規模を縮小しており、震災によってさらに大きな打撃を受けた。そのため、従来とは異なる水産業の在り方やビジネスモデルの構築などのイノベーションを推進することが喫緊の課題となっている。本プロジェクトの大きな特徴は、実際に地域水産業の変革にとって大きなインパクトを生み出すために実効性の高い戦略と行動を計画実行し、その効果を継続的に検証していくことである。

2019年度は、2018年度に作成した東北水産加工業の将来像を実現していくための具体的な行動プログラムを、東北経済産業局の「平成31年度「東日本大震災被災地域中小企業等人材確保支援事業（水産加工業イノベーション人材確保事業）」と連携して実施した。

#### 東北発水産業イノベーションプロジェクト

##### ■ プロジェクトの理念: (Action Research Project)

- 「社会にインパクトのある研究」(東北大学の全学的研究方針)
- 地域社会に大きなインパクトを与えるためのアクションを伴う実効性の高い調査研究プロジェクト

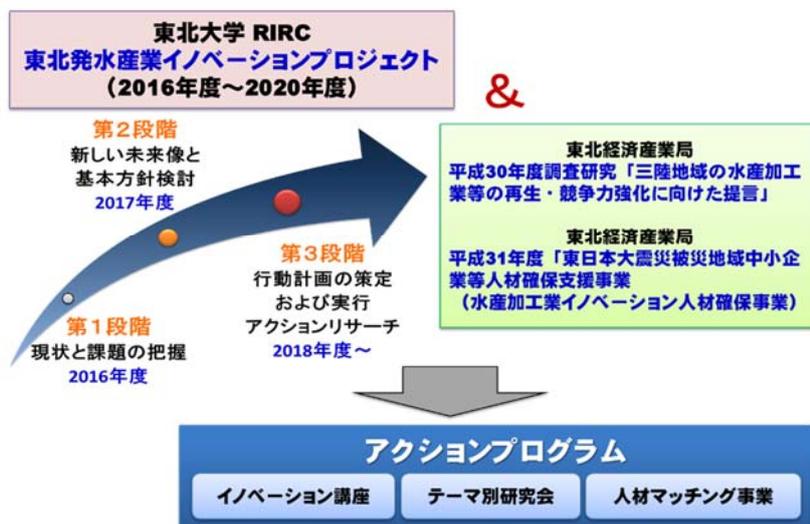
##### ■ 東北地方ならではのプロジェクトのテーマ:

- 水産加工業を中心にして新たなビジネスモデルと政策に関する調査研究
- アクションおよびその検証

##### ■ プロジェクトの活動内容: 2016年度～2020年度(5年間)

- 東北地域の水産業に関する定量的および定性的な分析による全体像の実態把握
- 海外も含む地域内外の優れたビジネスモデルや政策の調査分析
- 東北地域での新たなビジネスモデルや政策の実現に向けた課題解決策の立案
- 課題解決策のアクションと検証
- 地域創生のモデルとなる方法論の構築

### 本事業の経緯

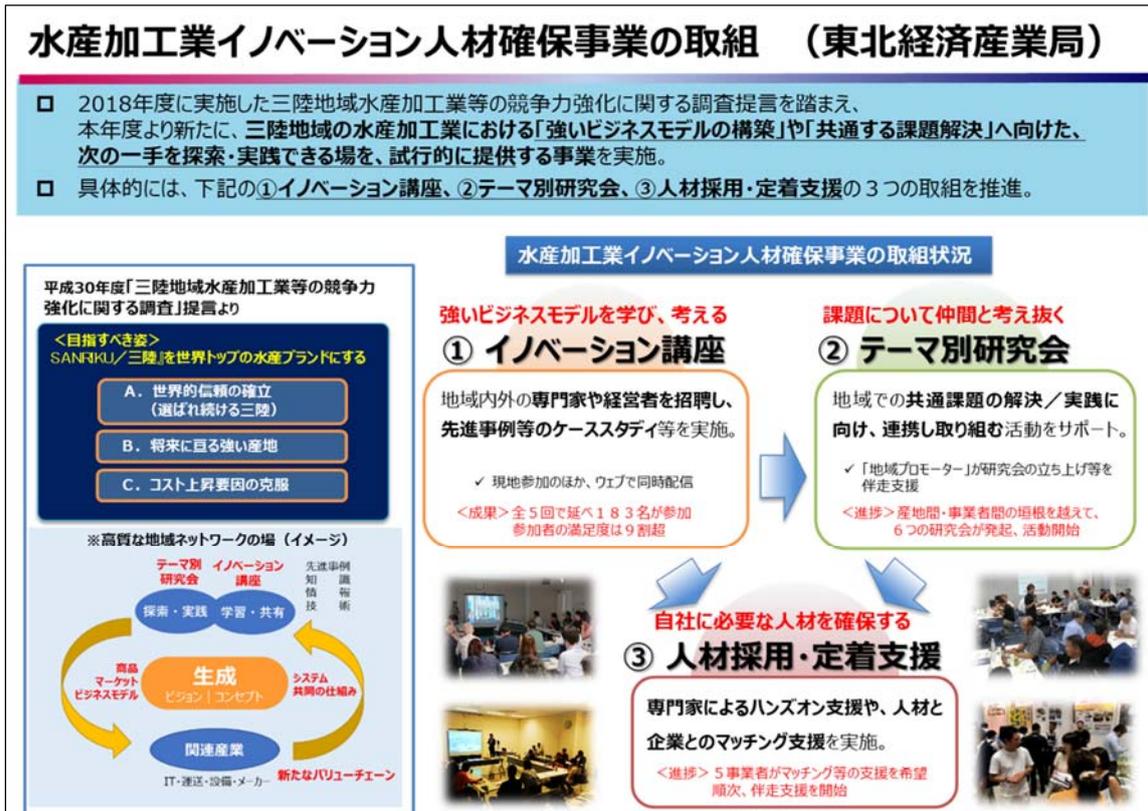


## 2-1-2 プロジェクトの活動内容

### (1) 今年度の主要な活動

今年度は、2018年度の調査活動において検討した東北水産加工業の将来像を実現していくための以下のような具体的行動プログラムに取り組んだ。

- 事前広報活動：三陸沿岸の6つの地域で本事業の事前広報活動を実施
- イノベーション講座の開講：5回のイノベーション講座の実施
- テーマ別研究会の立ち上げ：6つの研究会が立ち上がって活動中



東北経済産業局により作成

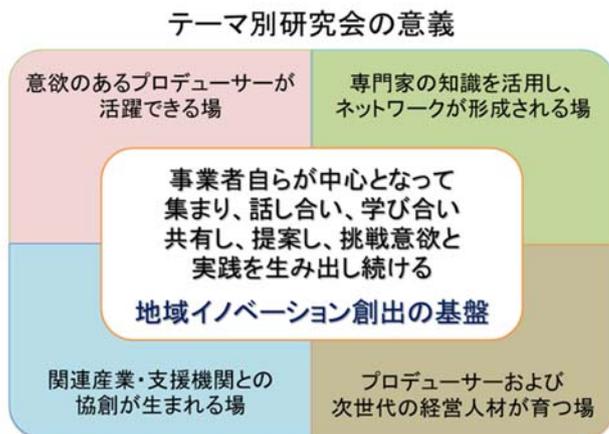
## 本事業の推進体制





## 【テーマ別研究会】

地域プロモーターの支援のもとで、6つのテーマ別研究会が立ち上がり、イノベーション講座等を通じて認識された課題を踏まえて、特定の課題解決に向けての学習、イノベーションの探索および実践についての検討が行われた。実施結果は下図の通りである。



### ② テーマ別研究会

共通の課題や相談意欲を持つ企業等が連携し、外部専門家なども交えて、課題解決やイノベーションを探索・実践して頂く場を提供します。「地域プロモーター」（リポーター）が研究会の立ち上げや運営をサポートします。

**対象者**  
原則イノベーション課題を受講した企業の方

**テーマと取組内容（例）**

<b>人材の採用・定着</b>	外部講師を招いてワークショップを行い、専門講師の講演や研究会の定員に賛同の企業から企業、4名人材・専門人材の活用や多様な人材の確保について検討する。
<b>シーズとニーズのマッチング</b>	参加企業のシーズに基いて、企業文化、技術、素材、商品、デザインなど、多角的に検討可能な課題・課題と、社内・業界・マーケットのニーズへのマッチングを共同で実施する。
<b>商業ロスの活用</b>	弊社は水産物廃棄物削減に取り組むため、参加企業と共同で課題の解決や課題を克服し、推進に向けた事例を学びながら、廃棄物の削減や活用を検討する。
<b>漁業法改正を踏まえた産地の取組</b>	漁業法改正によるTAC（漁獲の総量）IQ（60%漁獲制限）の値、資源レベルが変動する状況に対応し、漁業法改正、漁業法改正、水産物の加工・流通、産地への影響や今後の漁業法改正について共有を促す。

**Point**

- 研究会は自治体と共同で実施するが、「地域プロモーター」（リポーター）がその立ち上げや運営をサポートします。
- 自治体と連携して、テーマ/協賛/目標範囲は自由に設定することが可能です。
- 外部講師の紹介を行う場合、その費用を補助します！

**スケジュール（イメージ）**

7月上旬 7月中旬 8月上旬 2月

研究会の立ち上げ 研究会の運営 随時開催（計5回程度）

### 水産加工業イノベーション人材確保事業

## テーマ別研究会の取組状況

- 本事業の「イノベーション講座」への参加等をきっかけに、以下の6つの「テーマ別研究会」が発足し、活動中。
- 産地間や業界間の競争の垣根を越えて企業等が連携し、地域に共通する課題の解決に向けた検討や実践を行う場として設立。意欲ある事業者の取組を地域プロモーターが伴走型で支援。

研究会名称	設立の目的、期待される成果等
① 「SANRIKU」シーズvs ニーズマッチング研究会	有名展示会等に出展し、国内外のマーケット「ニーズ」と試行的にマッチング（ライブキッチン等）し、結果をフィードバックする <b>実証的な取組</b> 。 (釜石市内など岩手県内企業を中心に、広域連携で活動)
② 「SANRIKU」水産素材活用研究会	水産加工 <b>残渣の価値化</b> を検証。大手フード会社や首都圏イベントショップと連携し、チーム化、商品づくり、売り先の検討まで行う。 (宮古市内など岩手県内企業を中心に、広域連携で活動)
③ 海洋環境適応研究会	大船渡・気仙沼の商工会議所の水産部会士が <b>初めて</b> <b>県域を越えて連携し</b> 、海洋環境の変化に対応すべく真剣に議論。 (大船渡、気仙沼市内の水産関係事業者が参加し活動)
④ 改正漁業法研究会	<b>水産加工業者と漁業者が利害関係を越えて</b> 、地域の基幹産業である水産業の将来のために熱く議論。 (石巻市内の水産事業者が中心に活動)
⑤ 採用・定着研究会	<b>町ぐるみ</b> で人の採用・定着を議論し、兼業・副業やプロボノなどの「 <b>新しい働き方</b> 」についても検討を行う場。 (女川町内の水産事業者を中心に活動)
⑥ AKAMOKUイノベーション研究会	昨今機能性食品として注目を集めるアカモクの <b>生産性向上と高付加価値化</b> に向けて、種苗・養殖の実証試験、アカモク由来機能性食品開発など新たな取組を検討。 (山田町、釜石市内など岩手県内企業を中心に活動。)

東北経済産業局により作成

### 3. 地域の人材育成事業

#### 3-1 地域イノベーションプロデューサー塾・地域イノベーションアドバイザー塾

##### 3-1-1 概要

###### (1) 地域イノベーションプロデューサー塾 (RIPS)

地域イノベーションプロデューサー塾 (以下、RIPS) は、地域企業、特に中小企業の経営人材を対象に、革新的なイノベーションによる新事業の開発を促進し、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる革新的プロデューサーを育成する事業である。RIPSは、地域の経営人材が未来を創るイノベーションに挑戦し、魅力的な事業プランを開発し、構想力と実行力を支える知力・スキル・マインドを学習するための場を提供するとともに、卒塾後の事業プランの実現化を支援していく。

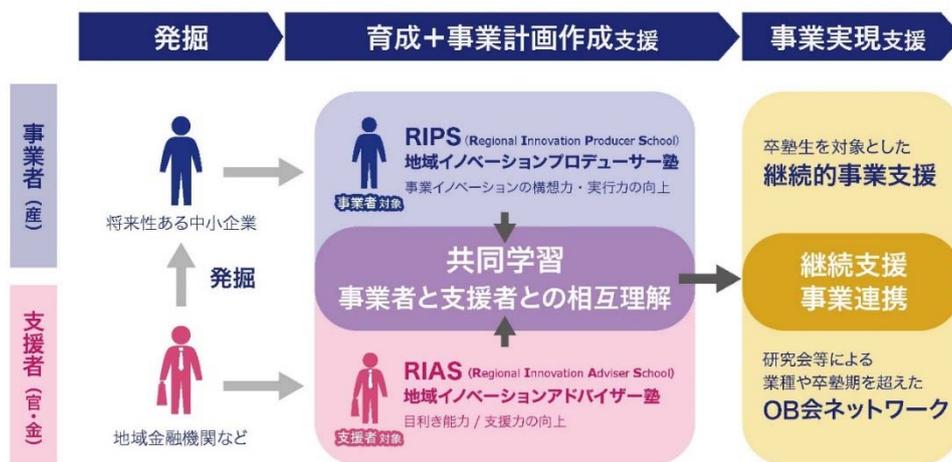


###### (2) 地域イノベーションアドバイザー塾 (RIAS)

地域イノベーションアドバイザー塾 (以下、RIAS) は、近年、大きな政策課題となっている高度な目利き力と支援力をもって、地域中小企業経営者に伴走して支援を行う金融機関や自治体の人材を育成するという課題に対処するため、地域企業の経営者の目線で事業革新を支援するパートナーとなるための企業経営と事業革新に関する体系的な知識や支援に必要な実践的なスキルなどを学習する機会を提供し、産学金官による地域イノベーションシステムの土台を築き上げていく。



#### RIPS と RIAS の全体像



### 【今年度の主要な動き】

- ベーシックコースの実習において、RIAS で育成した優秀な支援者をグループ指導のファシリテータとして活用することによって指導体制を強化した。
- RIAS ベーシックコースの受講者に対して、事業についての理解力と目利き力を高め、より高度な支援力を開発するため、魅力的な価値提案を盛り込んだ「新事業構想」の作成を課した。
- 2019年4月20日にベーシックコースの入塾式が行われ、RIPS生（第7期生）32名、RIAS生（第5期生）22名が入塾した。
- 2019年7月27日にベーシックコースの成果発表会および卒塾式が行われ、RIPS生29名、RIAS生22名に卒塾証書が授与された。また、優れた事業モデルを発表したRIPS生3名、およびRIAS生3名が表彰された。
- 2019年8月31日にアドバンストコースの入塾式が行われ、RIPS生17名、RIAS生15名が進級入塾した。
- 2019年12月7日にアドバンストコースの成果発表会および卒塾式が行われ、RIPS生15名、RIAS生15名に卒塾証書が授与された。また、優れた事業モデルを発表したRIPS生4名、および優れた個人研究（イノベーション支援に関する研究）を行ったRIAS生3名が表彰された。

## 3-1-2 ベーシックコース

### (1) 塾生募集

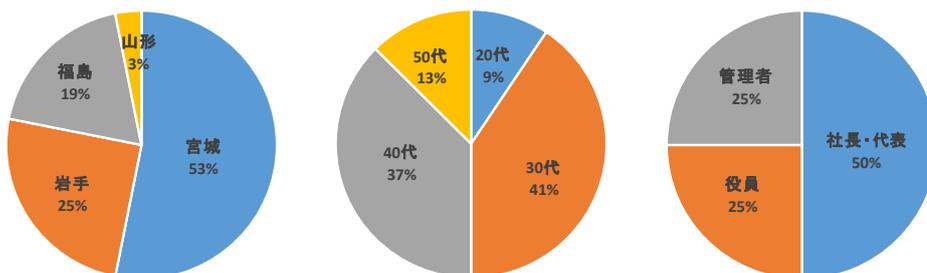
#### 1) RIPS

今年度の塾生募集は「推薦募集」および「一般公募」の2方式で行われた。センターHPに募集要項等を掲載したほか、各地での経営セミナーの開催、盛岡商工会議所および郡山商工会議所の会報でのRIPSチラシの挟み込み等により広報活動を行った。推薦募集と一般公募合わせて34名の応募があり、そのうち32名が入塾した。

2019年度 RIPS ベーシックコース入塾者数

	推薦募集	一般公募	合計
仙台本校	8	10	18
盛岡サテライト	4	4	8
郡山サテライト	4	2	6
入塾者数計	16	16	32

入塾者32名の地域別、年齢別および役職別の分布は、以下のとおりである。

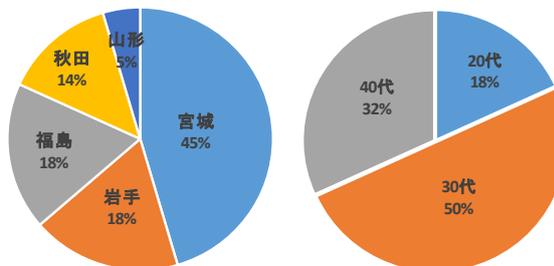


※役員・管理者のうち62.5%が後継者

## 2) RIAS

RIAS に応募できる者は、原則として、東北 6 県（青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県）に本店をおく金融機関、公的支援機関および市制を敷く自治体の職員であって所属機関から派遣される者である。今年度に入塾した 22 名の地域別、年齢別の分布は次の通りである。

所 属	入塾者数
銀行・日本政策金融公庫	4 (18.2%)
信用金庫	9 (40.9%)
信用組合	7 (31.8%)
商工会議所	1 (4.5%)
企業	1 (4.5%)
合計	22 (100%)



## (2) カリキュラムと主要日程 (RIPS、RIAS 共通)

### 1) カリキュラム

#### ベーシックコース RIPS・RIAS共通

4月20日(土)	10:30-12:00 入塾式、ガイダンス	13:00-17:00 入塾研修Ⅰ：事例で学ぶ新事業開発	
4月21日(日)	09:00-12:00 入塾研修Ⅱ：新事業開発事例研究		
科目区分 開講日	講義場所	講 義 土曜日：10:30-12:30 / 火曜日：18:30-21:00	実 習 土曜日：13:30-17:30
5月7日(火)	仙台	1 経営戦略の考え方	
5月11日(土)	仙台	2 経験デザインと原型思考Ⅰ	実習Ⅰ 眠れる資源の発掘と活用
5月14日(火)	盛岡	3 経験デザインと原型思考Ⅱ	
5月21日(火)	仙台	4 マーケティングの基礎	
5月25日(土)	仙台	5 顧客ニーズを把握する手法	実習Ⅱ 経験デザインと原型思考
5月28日(火)	仙台	6 販路と顧客関係の構築	
6月4日(火)	郡山	7 ビジネスモデル・キャンパス(BMC)	
6月8日(土)	仙台	8 インターネットの活用	実習Ⅲ BMC実習Ⅰ
6月9日(日)	仙台	学習相談会①	
6月11日(火)	仙台	9 事業コンセプトから爆発的な需要へ	
6月18日(火)	仙台	10 商品開発 とブランディング	
6月22日(土)	仙台	11 IPOに向けて!	実習Ⅳ 商品開発 とブランディング
6月25日(火)	仙台	12 収益モデルを明確に!	
7月2日(火)	盛岡	13 人材マネジメント	
7月6日(土)	仙台	14 知財をいかに活用するか	実習Ⅴ BMC実習Ⅱ
7月7日(日)	仙台	学習相談会②	
7月9日(火)	仙台	15 プレゼンテーション・スキル	
7月16日(火)	郡山	16 リーダーシップ	
7月20日(土)	仙台	実習Ⅵ 成果発表会リハーサル指導	
7月27日(土)	仙台	RIAS成果発表会	RIPS成果発表会 RIPS・RIAS卒塾式

※土曜日の講義と実習については、塾生全員が仙台に集まります。火曜日の講義は「講義場所」で講義が行われ、塾生は仙台またはサテライトで受講することができます。

## 2) 主要な日程

日 程	カリキュラム
2019年4月20～21日	入塾式、ガイダンス、入塾研修Ⅰ（事例で学ぶ新事業開発） 入塾研修Ⅱ（新事業開発事例研究）
2019年5月～7月	カリキュラムに基づいた講義および実習
2019年7月27日	成果発表会、卒塾式、卒塾パーティー

### 【入塾式と入塾研修】

2019年4月20日(土)～21日(日)にアクティブリゾーツ宮城蔵王で入塾式および入塾研修が行われた。ベーシックコースでは、「飛躍するための事業コンセプト」の開発を目指して学習し、その成果を「ビジネスモデル・キャンバス (BMC)」にまとめることになる。

- ・入塾研修Ⅰ「事例で学ぶ新事業開発」では、新事業開発に取り組む際に押さえておきたいポイントやアイデアを生み出すコツについて学習した。

- ・入塾研修Ⅱ「新事業開発事例研究」では、RIPSとRIASのOBたちが、在塾中の新事業開発および卒塾後の事業化推進などについて事例発表を行い、今後の本塾での学習活動を方向づける重要な視点と概念等について学習し、本塾での学習到達点を明確に認識するための研修が行われた。



### 【講義・実習】

イノベーションと新事業開発に欠かせない知識、考え方、視点を学習するための16の講義を実施した。実習ではRIPS、RIAS生が混成グループを組み、同じグループメンバーとの議論を通じ「新事業構想」を行った。RIAS生に対しても、ベンチャー創業を準備する経営者の立場を想定し魅力的な価値提案を盛り込んだ新事業構想を課した。開発した新事業構想は、顧客セグメントや価値提案などを明確にして、ビジネスモデル・キャンバス

(BMC) にまとめ上げた。

なお、グループは毎回編成を変更して多くの塾生と交流しながら構想を進めていけるよう工夫した。また、今年度もRIASを卒塾した優秀なOBがRIASコーチとして実習におけるグループ活動のファシリテーションを行った。



### 【RIPS、RIAS 新事業構想成果発表会】

2019年7月27日(土)に、RIPS、RIAS生たちが3ヶ月間の学習成果を発揮して開発したBMCを基に新事業構想についてそれぞれ成果発表を行った。RIRCの教員、実践ゼミコーチ、RIASコーチだけでなく、東北地域イノベーション推進コンソーシアム、RIPS推薦機関、サテライトまたRIASの派遣機関からも多くの関係者が参加した。



### 【卒塾式】

成果発表会の後、地域イノベーション研究センターで卒塾式が行われ、RIPS第7期生として29名、およびRIAS第5期生として22名にそれぞれ卒塾証書が授与された。そして、優秀な事業構想を開発したRIPS生3名、RIAS生3名に対して表彰が行われた。

卒塾式終了後には、RIPS/RIAS OB会によるOB会入会式も行われた。



### 2019年度 RIPS(ベーシックコース) 優秀賞受賞者

優 秀 賞	鹿島 宗和	有限会社マルカコーポレーション
	畠山 智恵美	株式会社イシウン工業
	千葉 伸也	株式会社藤崎

### 2019年度 RIAS(ベーシックコース) 優秀賞受賞者

優 秀 賞	佐藤 潤一	鶴岡信用金庫
	庄司 雅俊	株式会社東邦銀行
	工藤 翔大	秋田県信用組合



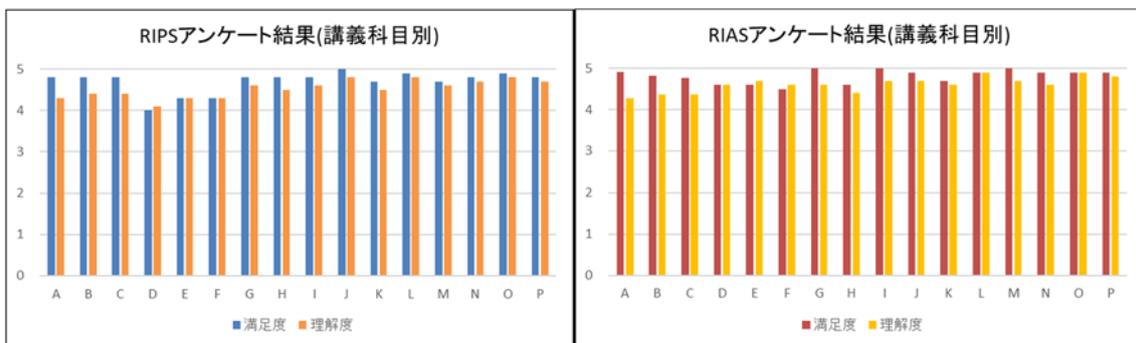
RIPS (ベーシックコース) 卒塾者と関係者

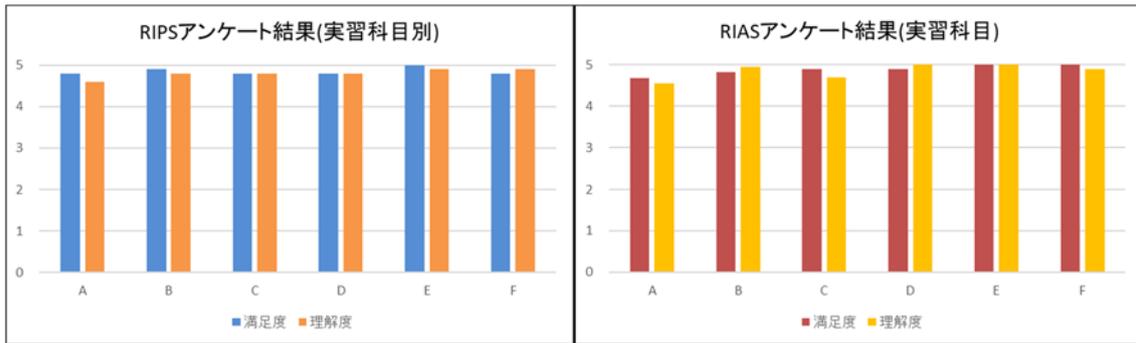


RIAS (ベーシックコース) 卒塾者と関係者

### (3) 授業アンケートの結果

すべての授業について RIPS と RIAS ごとに授業アンケートを実施し、塾生の満足度と理解度を確認することによって授業の内容と方法に対する塾生の反応を把握した。講座ごとの満足度と理解度についての結果を総合すると下図のとおりで、おおむね良好な結果となった。また RIPS と RIAS とで理解度、満足度に顕著な差はなかった。





### 3-1-3 アドバンストコース

#### (1) 塾生募集

##### 1) RIPS

アドバンストコースへの応募資格は、ベーシックコースを卒塾した者とされている。今年度の RIPS ベーシックコース卒塾生 29 名の中から 17 名の応募があり、選考の結果そのうち 17 名全員の入塾が認められた。



##### 2) RIAS

アドバンストコースへの応募資格は RIPS 同様ベーシックコース卒塾者とされており、今年度の RIAS 卒塾者 22 名の中から 15 名の応募があり、15 名全員の進級入塾が許可された。

#### (2) カリキュラムと日程

アドバンストコースでは、RIPS 生はベーシックコースでの成果を踏まえて 3 年以内に革新的な新事業を立ち上げることを目指して魅力的な事業プランを完成させることを目指し、RIAS 生は RIPS 生が行う実際の事業開発に参加し「支援実習」を通じて地域企業のイノベーションを促進する、高度な目利き力と支援力を有する支援人材となることを目指している。

今年度は、これらの学習の効果をさらに高めるため、アドバンストコースで予定していたカリキュラムを一部修正し、以下の内容で実施した。

アドバンストコース 実践ゼミ			
開講日	午前プログラム 10:30~12:30		午後プログラム 13:30~17:30
	RIAS	RIPS	
8月31日(土)	入塾式、ガイダンス、	RIPS入塾研修、RIAS入塾研修	第1回 RIPS/RIAS クラス担任指導
9月14日(土)	RIASクラス指導①	クラス担任との個別面談	第2回 RIPS/RIAS クラス担任指導
9月28日(土)	RIASクラス指導②	RIPS テーマ別セミナー	第3回 RIPS/RIAS クラス担任指導
10月12日(土)	RIPS/RIAS 合同セミナー①		第4回 RIPS/RIAS クラス担任指導 <span style="background-color: yellow;">RIASクラス替え</span>
10月26日(土)	中間報告会 (RIPS)		第5回 RIPS/RIAS クラス担任指導
11月09日(土)	RIPS/RIAS 合同セミナー②		第6回 RIPS/RIAS クラス担任指導
11月10日(日)	個別指導① (RIAS: 個人研究 RIPS: 事業計画)		
11月23日(土)	RIPS成果発表会リハーサル指導 RIAS成果発表会リハーサル指導 (同時進行)		第7回 RIPS/RIAS クラス担任指導
11月24日(日)	個別指導② (RIPS: 事業計画) ※RIASは実施しない		
12月07日(土)	RIAS 成果発表会	RIPS 成果発表会	卒塾式

カリキュラムの中心は、RIPS/RIAS 混成クラスで行われる「RIPS/RIAS クラス担任指導」であるが、午前中の時間を活用して、RIAS 生のための「RIAS クラス指導」、RIPS 生のための「クラス担任との個別面談」、担任以外のコーチとの交流のための「テーマ別セミナー」を設けて多様な学習機会を提供した。また、RIPS/RIAS 合同セミナーとして、株式会社ひろの屋の代表取締役である下苧坪之典氏による講演会「「ローカルからグローバルへ」～地域資源を活かした地域のビジョン創造と世界への挑戦～」を開催し、地域プロデューサーとしての視点、マインドなどを学んだ。さらに個別指導の時間を設けて成果発表の質を高めるようにした。

なお、台風 19 号の影響により、10 月 12 日の授業は終日休講せざるを得ない状況であった。



#### 【実践ゼミの実施内容】

アドバンストコースの実践ゼミは、RIPS 生にとっては事業構想を事業プランにまで昇華する時間であり、RIAS 生にとっては高度な支援力や目利き力を、支援実習を通じて涵養する時間となる。今年度には RIPS 生 3～4 名、RIAS 生 3 名の計 6～7 名で構成される 5 つのクラスを編成し、それぞれのクラスにクラス担任コーチを配置した。クラス内では各担任の判断と指導の下、RIPS 生の目標設定と達成レベルの設定、進捗管理が行われ、また RIAS 生から RIPS 生への支援が円滑に行われるよう適切な指導が行われた。

RIPS・RIAS 混成のクラスにおいて、RIPS 生の所属は卒塾時まで固定され、RIAS 生は途中 1 回だけクラス替えを行うことによって、受講中に多くの RIPS 生と議論を行って支援実習の効果を高めるよう配慮した。

さらに RIAS 生の支援力を指導するための RIAS 統括コーチ（本学教員）を 1 名配置し、RIPS 生への支援内容等についての指導に当たった。

#### 1) RIPS

卒塾後 3 年以内に実施するための事業プランの開発を目標として、全 6 回の実践ゼミおよび 2 回の個別指導を計画通り実施することができた。クラス内では、担任が設定する目標および達成レベルについて進捗管理が行われ、各 RIPS 生の事業構想についてのクラス内での厳しい議論の結果を踏まえて事業プランの作成が行われた。その際、RIAS 生からの支援レポート、プレゼン等が重要な参考資料として活用された。

#### 2) RIAS

RIAS 生は、実践ゼミ全体を通じ支援者の立場から RIPS 生の事業構想や計画をヒアリングし、その問題点の把握と解決策に関する支援の実習を行った。

具体的には、①事業者から事業構想や計画および課題についてヒアリングを行い、②次回までに問題解決支援レポートを作成してクラス全員の前で当該 RIPS 生にプレゼンを行い、③そのプレゼン内容についてグループ内の RIPS 生全員から評価（フィードバック）を受けるということを繰り返した。



### 【RIAS 個人研究の実施内容】

RIAS 生が独自にイノベーション支援に関する研究テーマを設定し、調査研究を行った成果を「イノベーション支援に関する研究レポート」として取りまとめた。各 RIAS 生は、テーマの設定やレポートの書き方等に関して RIAS 統括コーチとの個別面談および発表リハーサルを通じて指導を受けながら、イノベーション支援における支援者個人および支援機関の在り方について個人研究レポートを完成させた。

### RIAS アドバンストコース塾生の個人研究テーマ

イノベーション支援による革新的事業の創造と金融機関の支援の在り方
イノベーションから脱却したイノベーション支援
イノベーション支援を通じた新たな事業性融資推進法の確立
地域のイノベーション創出における課題と地域金融機関としての支援の在り方
地域金融機関にしか出来ないイノベーション支援
地域金融機関がイノベーション支援を行う意義について
八方よしを実現する、地域金融機関によるイノベーション支援
イノベーション支援の必要性和協同組織金融機関の存在と役割
金融機関における新事業構想支援のあり方
従来の審査手法と異なる、地域金融機関が取り組む支援の在り方
イノベーション支援力を持つ人材の育成
「お客様の為に出来る事」地域金融機関だからこそそのイノベーション支援
事業承継に繋ぐためのイノベーション支援の必要性和支援するための人材育成
事業承継で衰退期にある地元企業の「承継起業」
地域金融機関に求められるイノベーション支援とは

### 【RIPS、RIAS 成果発表会】

2019年12月7日(土)に、RIPS 生はアドバンストコースで開発した事業プランについて、そして RIAS 生はイノベーション支援に関する個人研究について、その成果発表を行った。RIPS 生の事業プランは RIAS 生の支援、またコーチ等の指導によりベーシックコースでの構想段階に比べ非常に高いレベルとなり、参加した関係者からの評価も高かった。



**【卒塾式】**

成果発表会に引き続き卒塾式が行われ、RIPS 第7期生（アドバンストコース）15名、およびRIAS 第5期生（アドバンストコース）15名に、それぞれ卒塾証書が授与された。そして、RIPS 生の中から優秀な事業プランを作成した4名、およびRIAS 生からは「イノベーションの支援に関する個人研究レポート」において優秀と認められた3名に対して、表彰が行われた。



**2019年度 RIPS（アドバンストコース）受賞者**

ベスト・イノベーション賞	鹿島 宗和	有限会社マルカコーポレーション
優 秀 賞	安曇 翼	ヤマセン株式会社
	本間 洋平	合同会社 lajapan
	藤澤 豪	株式会社太長会

**2019年度 RIAS（アドバンストコース）受賞者**

最 優 秀 賞	高谷 俊秀	株式会社日本政策金融公庫
優 秀 賞	久門 大輝	株式会社七十七銀行
	佐藤 潤一	鶴岡信用金庫



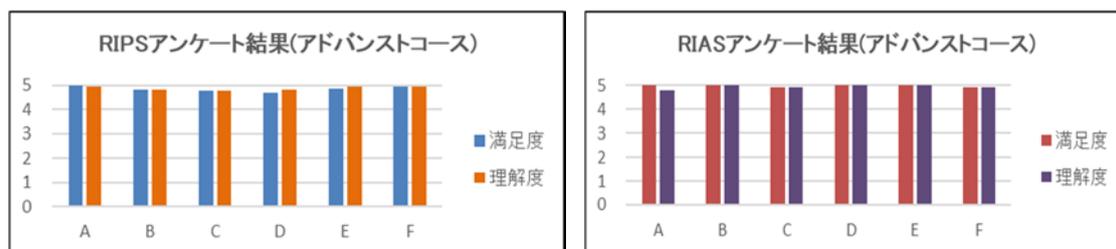
RIPS（アドバンストコース）卒塾者と関係者



RIAS（アドバンストコース）卒塾者と関係者

### (3) 授業アンケートの結果

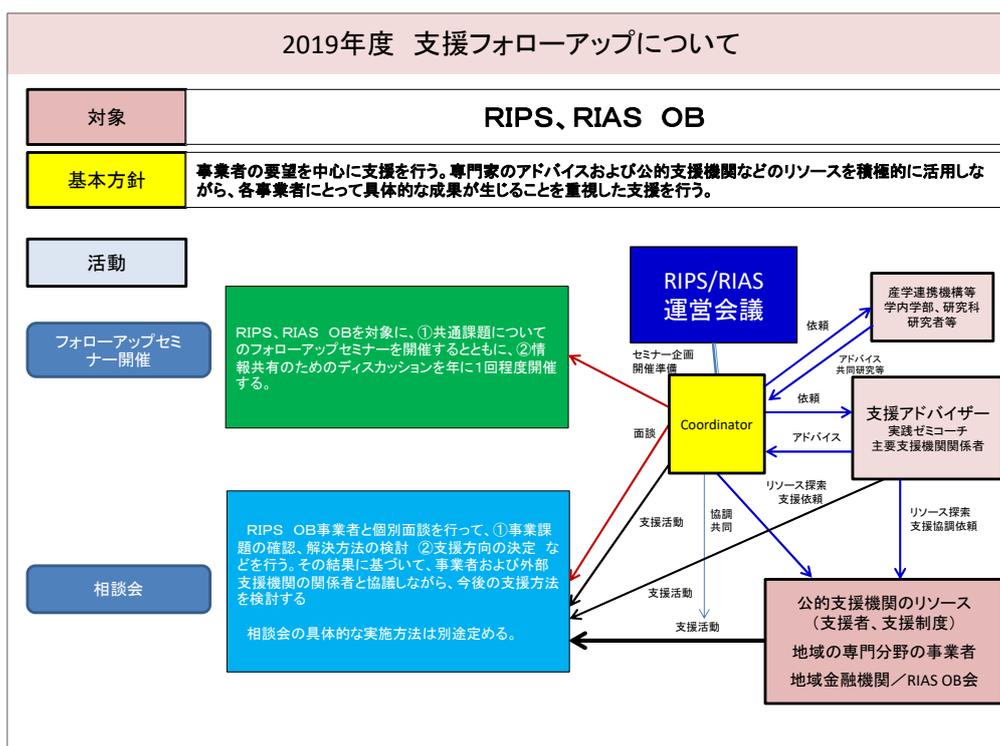
全回の実践ゼミについて RIPS と RIAS ごとにアンケートを実施し、塾生の「満足度」と「理解度」等を確認した。結果は下図のとおりで、各担任コーチ、塾生の努力もあり、満足度、理解度共に非常に高いものとなった。



### 3-1-4 卒塾後の事業支援・フォローアップ

#### (1) 卒塾後の事業支援・フォローアップの取り扱い

今年度は、事業者の要望を中心に支援を行うこととし、専門家のアドバイスおよび公的支援機関などのリソースを積極的に活用しながら、各事業者にとって具体的な成果が生じることを重視した支援を行った。



具体的な支援活動は以下のとおりである。

#### ①フォローアップセミナー

すべての卒塾生を対象にして、卒塾生の共通課題についての再教育セミナーを年に1回開催する。

## ②個別面談活動

新事業プランの実現、または自社の更なる発展に強い意欲を持つ者のうち、各事業者の希望に応じ、個別面談を行って、①進捗状況把握、②隠れた課題の把握等を行う。

## ③課題解決支援活動

個別面談活動、定期相談会等の結果を踏まえて、必要なアドバイスを行うとともに、公的支援機関、専門事業者、金融機関関係者（RIAS OB）など、問題解決にふさわしい機関等を紹介し、彼らと共同で要望／課題に対応する。

## (2) フォローアップセミナーの開催

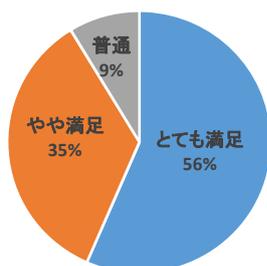
RIPS、RIAS 卒塾生に再教育の場を提供し、卒塾生の新事業構想の実現および各社の更なる発展を目指すためにフォローアップセミナーを開催した。

- ・開催日：2019年5月13日（月）
- ・講師：荒井 秀和氏  
（本学事業イノベーションセンター副センター長）
- ・演題：とある二代目経営者の挑戦と失敗と成長の軌跡

当日は22名のRIPS,RIAS OBが参加した。アンケートによると二代目社長としての挑戦と実体験に基づいた失敗事例等のお話は非常に参考になったという意見が多数あった。セミナーの満足度もとても高いものであった。



セミナーの満足度



## (3) 個別面談会の実施

2019年5月および2020年1月に、RIPS OBの希望者のべ11名に対し個別面談会を開催した。各社の事業進捗の把握と、隠れた課題の発掘を行い、適切なアドバイスをするとともに、必要な案件については外部の公的支援機関の専門家による支援への引継ぎを行った。

## 3-1-5 OB会の活動

RIPS OB会は2014年5月に設立され、2016年7月のRIAS OB会との合併後も卒塾後の継続学習と相互研鑽の場として機能し、東北地域のイノベーションと地域活性化を牽引するネットワークとして成長しており、社会からその活躍ぶりが注目されている。現在OB会は、RIPS

の234名、RIASの134名と、計368名の卒業生で構成されている。最近の注目すべき新しい動きは、OB会が独自で特定テーマを中心にして継続的な研究会活動を行ったりOB企業訪問ツアーなどを企画／実施したりすることが始まったことである。

具体的には、OB会の運営のもとで「経験デザイン研究会(EDS)」が開催され、卒業生たちの継続学習と相互研鑽の場が行われるとともに、OB会を通じた会員間の事業連携が行われている。また、卸売事業者たちによる「卸売研究会」の継続した活動や、OB会主催による花巻地区OB企業訪問、「金融リテラシー講座」「地方創生講座」などの勉強会等も積極的に開催された。

RIRCは、これらの研究会活動を支援するとともに、ホームページに「RIPS/RIAS学習交流の広場」のコーナーを開設し、会員情報の共有、イベント開催の案内、会員同士のコミュニケーションおよびビジネス・パートナー探しの支援を行っている。

### 3-1-6 来年度に向けて

#### (1) 塾生募集と連動した経営セミナーの開催

RIPSの最大の課題は、優秀な入塾者を安定的に確保していくことである。そのため、自治体や金融機関等と連携して経営セミナーを開催し、入塾に関心を示した受講者に個別説明をする方法を実施した(経営セミナー開催の実績は4:1のとおり)。この結果、応募者の増加が見られるなど一定の成果があったことから来年度以降も金融機関等と連携したセミナー開催による募集活動を実施していくこととしている。

#### (2) 地域の支援機関との連携強化

宮城県、仙台市、東北経済産業局、中小企業基盤整備機構東北本部、みやぎ産業振興機構、仙台市産業振興事業団および当センターでは、中小企業の活力ある成長発展を図ることを目的とし、組織の枠を超えた中小企業支援の充実・連携のため「みやぎ・せんだい連携会議」を運営している。

この連携会議では、RIPS卒業後の塾生支援について、それぞれの支援機関の得意分野、制度、塾生の希望などを勘案して選択的に活用できる仕組みを構築している。

連携会議では、中小企業者への支援として、2019年7月24日に、「セミナー&企業相談会「人手不足時代に中小企業者がとるべき対策を考える」」、2020年2月13日に「令和2年度中小企業施策 合同説明会」を開催し、RIPS/RIASOBも多数参加した。これらのイベントでは、RIPSの活動内容の説明、個別相談も行った。



### 3-2 中小企業者のための右腕幹部養成講座

#### (1) 開講の経緯

中小企業において事業イノベーションを推進するためには、既存事業と新たな事業を同時並行で進める必要があるが、そのためには経営者と十分なコミュニケーションをとって、その意向

を踏まえて事業を推進する、いわゆる「右腕幹部」が不可欠である。しかしながら中小企業ではそうした人材を確保することも育成することも十分できずにおり、結果として経営者に過重な負担がかかっている。

こうした状況を改善して事業イノベーションを進めるためには「右腕幹部」の育成が急務であるとの共通認識の下、2016年度にRIPS卒塾生の有志で「右腕プロジェクト研究会」が設置された。研究会では右腕に関する様々な問題を洗い出し、メンバーで共有した上で解決すべき課題を抽出し、課題解決のための対策が検討された。こうした検討の結果、2017年度はRIPSの卒塾企業の右腕幹部を対象とした右腕幹部育成講座（事業の戦略と計画）を開講した。

今年度は、2018年度に引き続き、中小企業大学校仙台校との共催で、RIPS卒塾企業と一般企業を対象とした、中小企業大学校サテライト・ゼミ「中小企業者のための右腕幹部養成講座～事業の戦略と計画～」を開講した。

### 【中小企業者のための右腕幹部養成講座～事業の戦略と計画～】

#### 1. 研修のねらい

新規事業の立ち上げをベースとした事業計画の実現には、右腕幹部となる経営管理者の育成が不可欠である。本研修では、経営者の右腕となって自社の戦略や事業計画を一緒に立案し、実行に導くことができる幹部を養成する。



#### 2. 受講対象者

- ・ 自社の事業戦略や計画の立案に携わることができる右腕幹部または候補者であること
- ・ 自社の事業戦略や計画の立案や分析をするため、経営管理情報の開示を受けられる立場にあること

#### 3. カリキュラム

日程			
1/17(金) 10:00~10:15	開講式 オリエンテーション		林伸次 藤本雅彦
10:15~17:15	経営戦略と事業イノベーションの考え方	講義とグループ討論	藤本雅彦
1/31(金) 10:00~12:30 13:30~17:00	ビジネスモデルと事業計画の考え方	講義とグループ討論	藤本雅彦
2/14(金) 10:00~12:30 13:30~17:00	ビジネスモデルと事業計画の策定（実践）	講義とグループ討論	藤本雅彦
			林伸次 藤本雅彦

4. 開講場所：地域イノベーション研究センター（セミナー室）

5. 受講者：9名

### 3-3 「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」会議の開催

「東北地域イノベーション推進コンソーシアム」は、地域の革新的経営人材と地域中小企業経営者等に伴走して支援する人材とを一体的に育成する事業（人材育成による地方創生事業）を効果的に行うため、地域の産学官が連携して、いわば地域ぐるみで応援する体制を構築するために設立されたものである。今年度においては2019年4月24日に第6回会議が開催され、2018年度RIPS、RIASの実施状況、2019年度の実施予定等について活発な議論が行われた。なお、今回から、RIPS/RIASに支援をいただいている仙台市もコンソーシアムのメンバーとして参加した。



## 4. 地域交流と広報

### 4-1 地方自治体、金融機関、経済団体等との連携によるセミナーの実施

地方自治体、金融機関、支援機関等と連携し、以下のセミナーを開催した。

セミナー名	開催日	連携機関
経営者のためのイノベーションの教室	2019年10月23日（水）	日本政策金融公庫、 仙台商工会議所
2019年度東北大学経営セミナーin 秋田	2019年11月20日（水）	秋田県信用組合
2019年度東北大学経営セミナーin 盛岡	2019年12月4日（水）	盛岡信用金庫
2019年度東北大学経営セミナーin 登米	2020年1月21日（火）	登米市



経営者のためのイノベーションの教室



東北大学経営セミナーin 登米

### 4-2 人材育成の支援

#### (1) 鶴岡信用金庫「若手経営者塾」への支援

鶴岡信用金庫では、2015年度から「若手経営者塾」を開講している。この塾では若手経営者、後継経営者、創業者の経営力を高めるため、経営学の基礎を体系的に学び地域経済をけん引する素養と見識を高めることを目的としている。今年度も本塾に対し、当センターから

講師を派遣した。なお、将来 RIPS、RIAS でのノウハウ、知見を提供して RIPS、RIAS と同等の教育を庄内地域で展開することを目指し検討している。

#### (2) 仙南信用金庫「せんなん経営塾」への支援

仙南信用金庫では、事業を営む若手経営者の「経営力向上」を目的に、30代・40代の経営者または右腕を対象に「せんなん経営塾」を開講している。当センターでは、今年度も本塾に対し講師を派遣した。せんなん経営塾の卒塾生から RIPS に入塾する事業者もでてきている。

#### (3) 同友会大学への支援

宮城県中小企業家同友会は、環境変化に強い企業づくりと地域に責任を持てる、挑戦するトップリーダー育成を目的とした「同友会大学」を開講している。これに対し会場の提供を行うとともに、講師を派遣するなど緊密な連携を行った。なお、宮城県中企業家同友会からは RIPS への推薦入塾が認められており、毎年、同友会の会員を推薦いただいている。

### 4-3 パブリシティ（新聞・雑誌掲載記事一覧）

- ・2019年6月21日(金) 日本経済新聞  
人手不足対策、仙台でセミナー 「みやぎ・せんだい中小企業連携会議」
- ・2019年11月19日(火) 河北新報  
東北大が新会社設立 研究成果活用 民間と事業創出 第1弾は医療機器開発
- ・2019年11月20日(水) 胆江日日新聞  
採用成功のコツは？ 水沢でセミナー 池谷昌之氏
- ・2019年12月18日(水) 福島民報 2019年12月20日(金) 福島民友  
創業や経営 ヒント学ぶ 郡山ビジネスミーティング 経営のヒント探る
- ・2020年3月6日(金) 河北新報  
地域経済活性化シンポ in 仙台 創業支援 宮城に活力 県内に根を下ろし起業
- ・2020年3月12日(木) 朝日新聞  
東日本大震災から9年 水産加工業人手足りず販路も失う 経営モデル転換課題

## 【今年度の実施事業】

2019. 04 地域イノベーションプロデューサー塾・地域イノベーションアドバイザー塾  
(ベーシックコース) の開講
- 04 東北発水産業イノベーションプロジェクト全体会議の開催
- 04 東北地域イノベーション推進コンソーシアム第6回会議の開催
- 05 RIPS/RIAS フォローアップセミナーの開催
- 05 RIPS OB 個別相談会の開催
- 07 地域イノベーションプロデューサー塾・地域イノベーションアドバイザー塾  
(ベーシックコース) 卒塾式
- 08 RIPS/RIAS OB 会 金融リテラシー講座の開催
- 08 地域イノベーションプロデューサー塾・地域イノベーションアドバイザー塾  
(アドバンストコース) の開講
- 10 経営者のためのイノベーションの教室の開催
- 11 東北大学経営セミナーin 秋田の開催
- 11 RIPS/RIAS OB 会 地方創生講座の開催
- 12 東北大学経営セミナーin 盛岡の開催
- 12 地域イノベーションプロデューサー塾・地域イノベーションアドバイザー塾  
(アドバンストコース) 卒塾式
2020. 01 中小企業者のための右腕幹部養成講座の開催(中小企業大学校仙台校との共催)
- 01 東北大学経営セミナーin 登米の開催
- 01 RIPS OB 個別相談会の開催

## 【所在・連絡先】

東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター

住所：〒980-8577

宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1

エクステンション教育研究棟6階 (片平キャンパス)

電話：022-217-6265

FAX：022-217-6266

E-mail：[rirc@grp.tohoku.ac.jp](mailto:rirc@grp.tohoku.ac.jp)

Homepage：<http://rirc.econ.tohoku.ac.jp/>

東北大学大学院経済学研究科  
地域イノベーション研究センター活動報告書  
(2019.4.1～2020.3.31)

2020年 3月

東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター編